

県職員の意識・実態調査の結果概要

1. 調査の目的

県民の取り組む地域づくり活動を支援するだけでなく、自ら取り組むとともに、参画と協働による県政を推進する立場にある県職員に、参画・協働意識の醸成に向けて、理解の現状や地域づくり活動の実施状況を把握するため、意識・実態調査を実施した。

2. 調査設計

- (1) 調査対象 兵庫県職員
- (2) 標本数 1,100
- (3) 調査方法 郵送、直接配付(催促1回)
- (4) 調査時期 平成17年8月31日～9月14日
- (5) 回収数 1050(回収率95.5%)

3. 調査結果

- (1) 「県民の参画と協働の推進に関する条例」を知っていますか。

| | 回答数 | 構成比 |
|---------------|-------|--------|
| よく知っている | 79 | 7.5% |
| 条例の趣旨は知っている | 372 | 35.4% |
| 条例があることは知っている | 465 | 44.3% |
| まったく知らない | 128 | 12.2% |
| 無回答 | 6 | 0.6% |
| 合計 | 1,050 | 100.0% |

- (2) 阪神・淡路大震災後、地域づくり活動は活発になったと思いますか。

| | 回答数 | 構成比 |
|-----------|-------|--------|
| とても活発になった | 110 | 10.5% |
| 少し活発になった | 578 | 55.0% |
| 変わらない | 178 | 17.0% |
| わからない | 179 | 17.1% |
| 無回答 | 5 | 0.4% |
| 合計 | 1,050 | 100.0% |

- (3) 「県民の参画と協働の推進に関する条例」の施行から今年で3年目となるわけですが、条例施行前に比べ、県民との参画と協働による県行政は進んでいると思いますか。

| | 回答数 | 構成比 |
|----------------|-------|--------|
| たいへん進んでいる | 28 | 2.7% |
| どちらかというに進んでいる | 432 | 41.1% |
| どちらともいえない | 466 | 44.4% |
| どちらかというに進んでいない | 78 | 7.4% |
| まったく進んでいない | 32 | 3.1% |
| 無回答 | 14 | 1.3% |
| 合計 | 1,050 | 100.0% |

(4) 施策・事業の計画、実施、評価の各段階で、参画と協働の手法の導入に努めていますか。

| | 回答数 | 構成比 |
|-------------------|-------|--------|
| 積極的に導入している | 62 | 5.9% |
| どちらかという積極的に導入している | 152 | 14.5% |
| どちらともいえない | 662 | 63.1% |
| どちらかという導入に消極的である | 80 | 7.6% |
| 導入には消極的である | 53 | 5.0% |
| 無回答 | 41 | 3.9% |
| 合計 | 1,050 | 100.0% |

(4-2) 「積極的に導入している」「どちらかという積極的に導入している」と答えられた方にお聞きします。

導入して、どのような成果がありましたか。

| | 回答数 | 構成比 |
|-------------------------|-----|--------|
| 県民の理解・協力を得て、事業を進めやすくなった | 48 | 22.4% |
| 県民の声を反映した施策をすることができた | 100 | 46.7% |
| 費用を効果的に使うことができた | 8 | 3.8% |
| 職員の手間が少なくなった | 3 | 1.4% |
| その他 | 36 | 16.8% |
| 無回答 | 19 | 8.9% |
| 合計 | 214 | 100.0% |

(4-3) 導入しようとしたときにどのような問題・課題がありましたか。

(あてはまる項目すべて)

| | 回答数 | 構成比 |
|-------------------------------------|-----|-------|
| 所属課室の雰囲気、導入に積極的でない | 45 | 4.3% |
| 参画と協働の知識やノウハウがなく、進め方がわからない | 402 | 38.3% |
| 導入することによって、手間が増える | 351 | 33.4% |
| 予算がない | 157 | 15.0% |
| 職員間で参画と協働の必要性について、認識の差が大きい | 252 | 24.0% |
| 県民やNPO・ボランティア-団体、企業の参画・協働がなかなか得られない | 98 | 9.3% |
| 市町の参画・協働がなかなか得られない | 94 | 9.0% |
| その他 | 172 | 16.4% |
| 無回答 | 157 | 15.0% |

(5) 参画と協働による県政を推進するために、県としてどのような支援方策が必要だと思いますか。
(2つまで回答)

| | 回答数 | 構成比 |
|-----------------------|-----|-------|
| わかりやすい県政情報の発信 | 454 | 43.2% |
| 地域づくり活動にともに取り組む機会の充実 | 373 | 35.5% |
| 市町と県の連携 | 256 | 24.4% |
| 参画と協働の手法を取り入れられる予算の確保 | 291 | 27.7% |
| 意見・提案する機会の充実 | 255 | 24.3% |
| 県政の評価・検証に参画する機会の充実 | 125 | 11.9% |
| その他 | 56 | 5.3% |
| 無回答 | 36 | 3.4% |

(6) 現在、地域づくり活動に取り組んでいますか。

| | 回答数 | 構成比 |
|----------|-------|--------|
| 取り組んでいる | 249 | 23.7% |
| 取り組んでいない | 797 | 75.9% |
| 無回答 | 4 | 0.4% |
| 合計 | 1,050 | 100.0% |

(6-A-1) 「取り組んでいる」と答えられた方にお聞きします。
いつから活動していますか。

| | 回答数 | 構成比 |
|-----------------|-----|--------|
| 阪神・淡路大震災のおきる前から | 111 | 44.6% |
| 阪神・淡路大震災がおきてから | 128 | 51.4% |
| 無回答 | 10 | 4.0% |
| 合計 | 249 | 100.0% |

(6-A-2) その活動を始めた動機は何ですか。

| | 回答数 | 構成比 |
|-------------------------------------|-----|--------|
| 一人ひとりが地域づくり活動に取り組む必要があると思ったから | 55 | 22.1% |
| 震災のときにボランティアを経験してやりがいを感じたから | 1 | 0.4% |
| 知人に誘われたから | 12 | 4.8% |
| 地域で生活するなかで活動せざるを得ない状況だったから | 126 | 50.6% |
| 行政の組織として活動するより個人として活動する方が効率的だと思ったから | 6 | 2.4% |
| その他 | 27 | 10.9% |
| 無回答 | 22 | 8.8% |
| 合計 | 249 | 100.0% |

(6 - A - 4) 今後も地域づくり活動に取り組んでいこうと思いますか。

| | 回答数 | 構成比 |
|--------------|-----|--------|
| 今後も取り組みたい | 202 | 81.1% |
| 取り組みたいとは思わない | 8 | 3.2% |
| わからない | 35 | 14.1% |
| 無回答 | 4 | 1.6% |
| 合計 | 249 | 100.0% |

(6 - B - 1) 「 取り組んでいない」と答えられた方にお聞きします。

活動に取り組んでいない理由は何ですか。

(2 つまで回答)

| | 回答数 | 構成比 |
|----------------|-----|-------|
| 取り組む時間がない | 406 | 50.9% |
| どうすればいいのかわからない | 202 | 25.3% |
| 活動のきっかけがない | 425 | 53.3% |
| ともに活動する仲間がいない | 84 | 10.5% |
| 活動する場所がない | 36 | 4.5% |
| 活動の必要性を感じない | 80 | 10.0% |
| その他 | 36 | 4.5% |
| 無回答 | 7 | 0.9% |

(6 - B - 2) 今後、地域づくり活動に取り組みたいと思いますか。

| | 回答数 | 構成比 |
|---------------|-----|--------|
| ぜひ取り組みたい | 59 | 7.4% |
| 条件が合えば、取り組みたい | 437 | 54.8% |
| 取り組みたいとは思わない | 99 | 12.4% |
| わからない | 191 | 24.0% |
| 無回答 | 11 | 1.4% |
| 合計 | 797 | 100.0% |